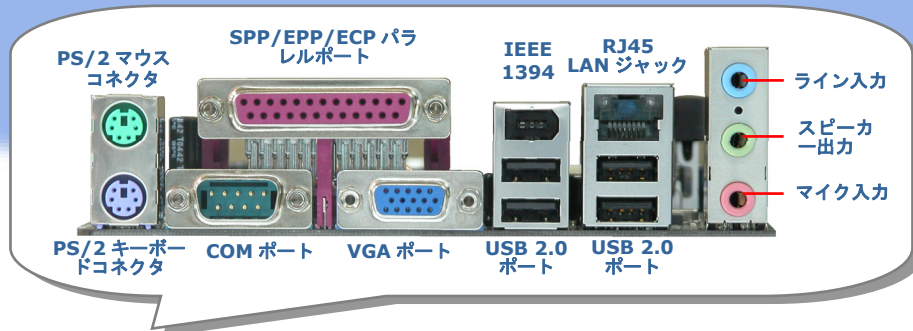


# s661FXm-FSN

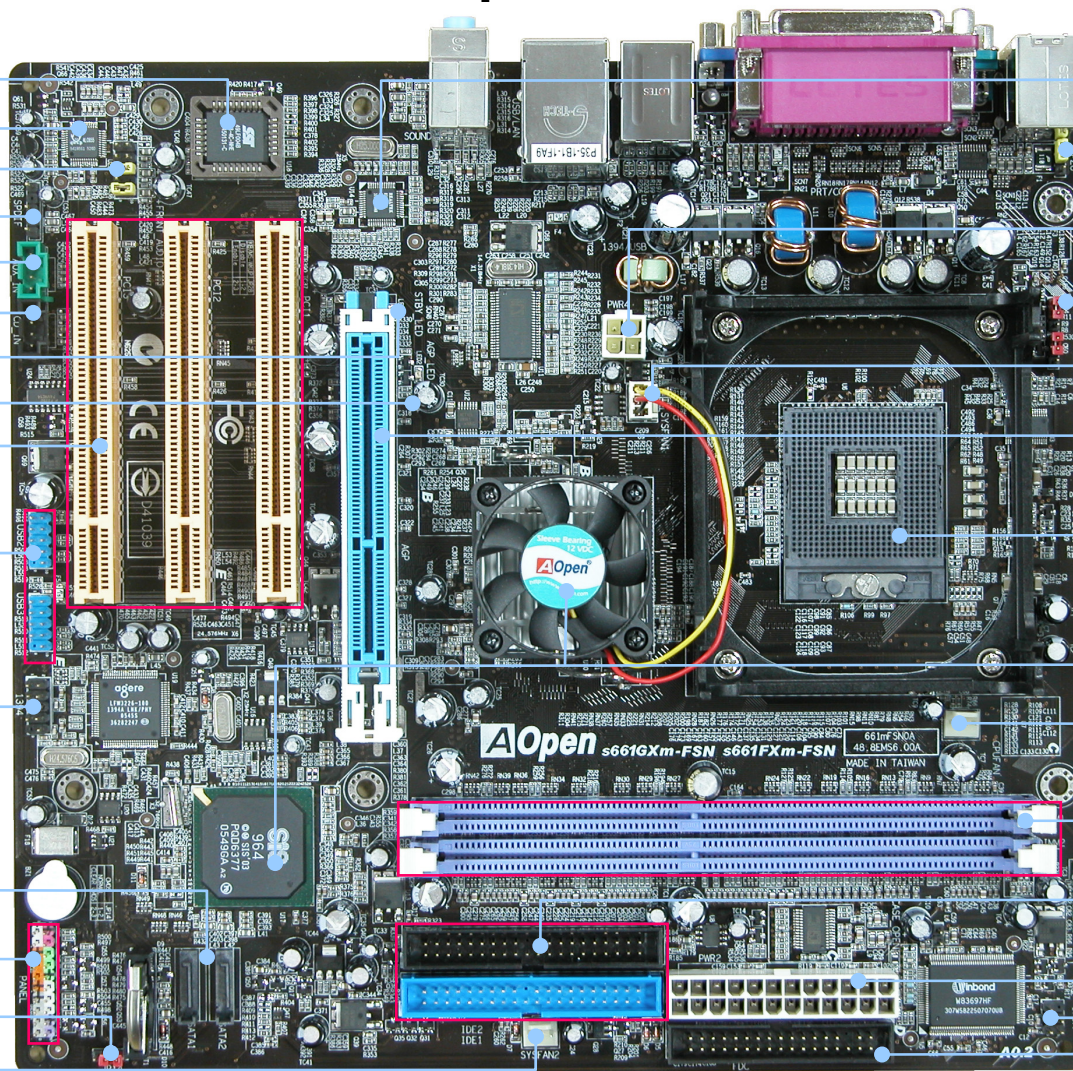
## MöDT

Cool Stuff is Hot Stuff, MoDT is the Right Stuff

### Mobile On DeskTop



- ダイハード BIOS Lite
- オンボード AC'97 CODEC
- フロントオーディオコネクタ
- S/PDIF コネクタ
- AUX\_IN コネクタ
- CD\_IN コネクタ
- STBY LED
- AGP 保護 LED
- 32 ビット PCI 拡張スロット x3 個
- USB 2.0 コネクタ x 2 個
- IEEE 1394 コネクタ
- Serial ATA ポート x2 個で 150 MB/s の転送速度をサポート
- フロントパネルコネクタ
- JP14 CMOS データクリアジャンパ
- SYSFAN2 コネクタ



- Realtek 10/100 LAN チップ
- JP28 PS2 キーボード/マウスウェイクアップジャンパ
- 4 ピン 12V ATX 電源コネクタ
- JP2,JP3 CPU FSB ジャンパー
- SYSFAN1 コネクタ
- AGP 8X 拡張スロットで 8X AGP カード(2.1GB/s)サポート
- 479 ピン CPU ソケット、電圧/クロック自動検出機能付きで Intel® Pentium® M (Dothan および Banias) および Celeron® M CPU をサポート
- SIS® 661FX/964 チップセットは 400/533 MHz FSB
- CPUFAN コネクタ
- 184 ピン DIMMx2 個で DDR400/333/266 が最大 2GB 搭載可能
- IDE コネクタ x 2 個 (ATA 66/100/133 対応)
- ATX 電源コネクタ
- IrDA コネクタ
- FDD コネクタ

AOpen は製品仕様および本出版物の記載事項について、将来予告なしに変更する権利を有します。

インストラクターガイド

# インストールの準備

当マザーボードをインストールするのに必要な情報は全て、このイージーインストールガイドに載せられています。さらに詳細な内容についてはオンラインユーザーズマニュアルがボーナスパックCDに収録されています。地球環境保護へのご協力に感謝いたします。

# 付属品チェックリスト

- イージーインストールガイド x 1 式
- フルカラーイラストマニュアル x 1 式
- 80 芯線 IDE ケーブル x 1 本
- フロッピードライブケーブル x 1 本
- Serial ATA 電源ケーブル x 1 本
- Serial ATA ケーブル x 1 本
- I/O シールド x 1 式
- ボーナスポック CD x 1 枚
- CPU Cooler x 1

# DIYでインストール



PART NO: 49.8EM0E.JE10

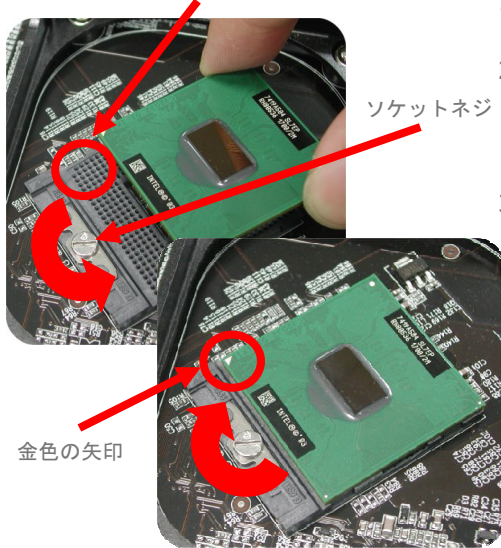
DOC. NO: S661FXMFSN-EG-J0602A



## 1. CPU のインストール

当ソケットは Intel の最新開発である uFCPGA パッケージ CPU 対応です。これ以外の CPU パッケージは適合しません。

ソケット 1 番ピン



ソケットネジ

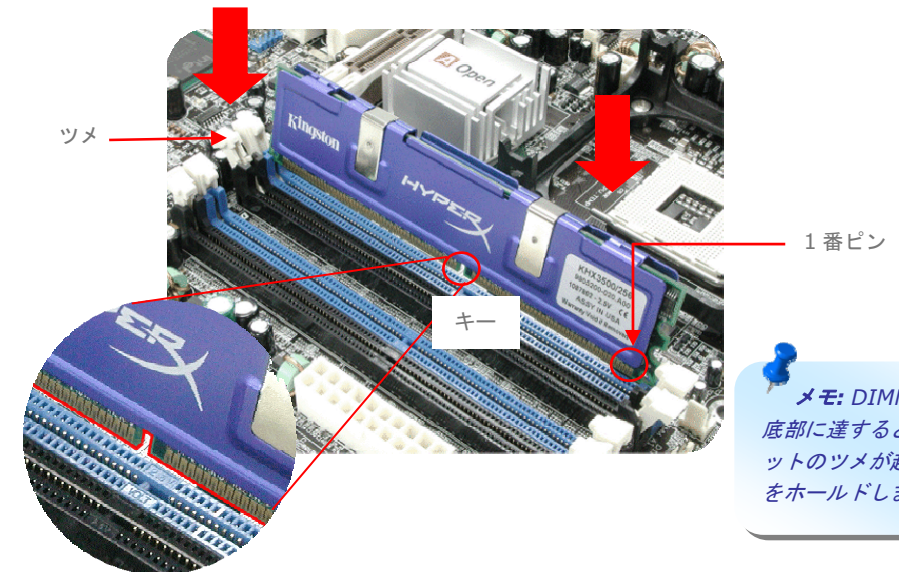
金色の矢印

1. ソケットネジを反時計回りにゆるめめます。
2. ソケットの 1 番ピンを確かめ、CPU 上部の金色の矢印を確認します。1 番ピンと矢印を合わせます。これで CPU をソケットに挿します。
3. CPU ソケットネジを時計回りに締めて CPU を固定します。

**メモ:** CPUソケット1番ピンとCPUの金色の矢印が合っていないと、CPUが損傷するおそれがあります。

## 3. メモリモジュールのインストール

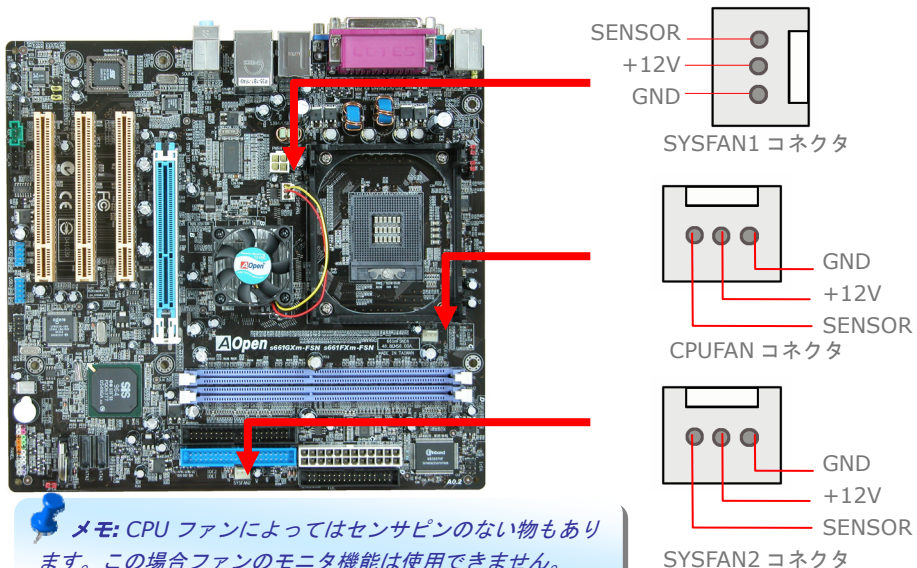
DIMM スロットは黒色で容易に判別できます。モジュールを両手で DIMM スロットにまっすぐ静かに、きちんと止まるまで挿します。



**メモ:** DIMM がスロット底部に達すると DIMM スロットのツメが起きて DIMM をホールドします。

## 2. CPU およびシステムのファンのインストール

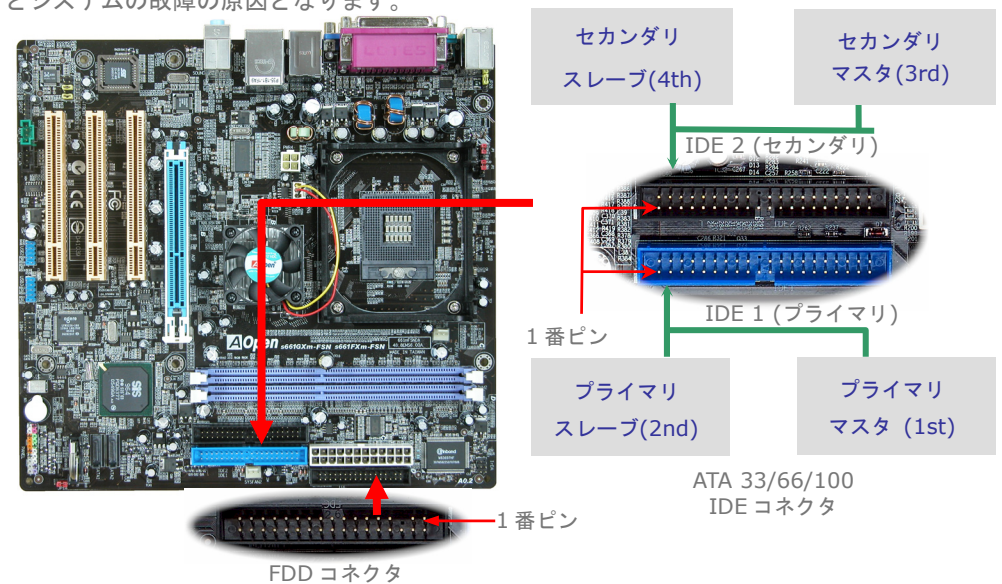
CPU ファンケーブルは、3 ピンの CPUFAN コネクタに接続します。ケースファンがある場合は、これを SYSFAN1 または SYSFAN2 コネクタに接続できます。



**メモ:** CPU ファンによってはセンサピンのないものもあります。この場合ファンのモニタ機能は使用できません。

## 4. IDE およびフロッピーのケーブルの接続

34 ピンフロッピーケーブルおよび 40 ピン、80 芯線 IDE ケーブルをフロッピーコネクタ FDD および IDE コネクタに接続します。1 番ピンの向きにご注意ください。向きを間違えるとシステムの故障の原因となります。





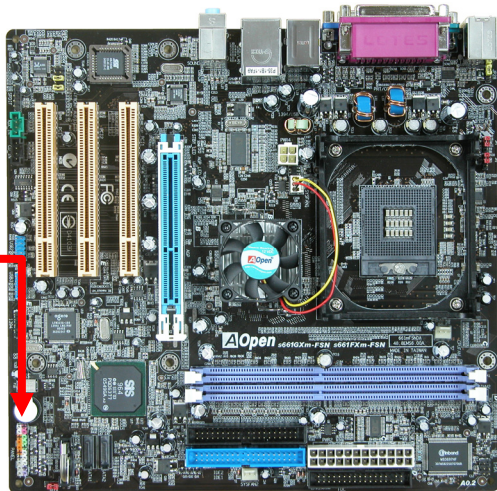
## 5. フロントパネルケーブルの接続

電源 LED、スピーカー、リセットスイッチのコネクタをそれぞれ対応するピンに差します。BIOS セットアップで“Suspend Mode” の項目をオンにした場合は、ACPI および電源の LED がサスペンドモード中に点滅します。

お持ちの ATX の筐体で電源スイッチのケーブルを確認します。これは前部パネルから出ている 2-ピンメスコネクタです。このコネクタを SPWR と記号の付いたソフトウェア電源スイッチコネクタに接続します。

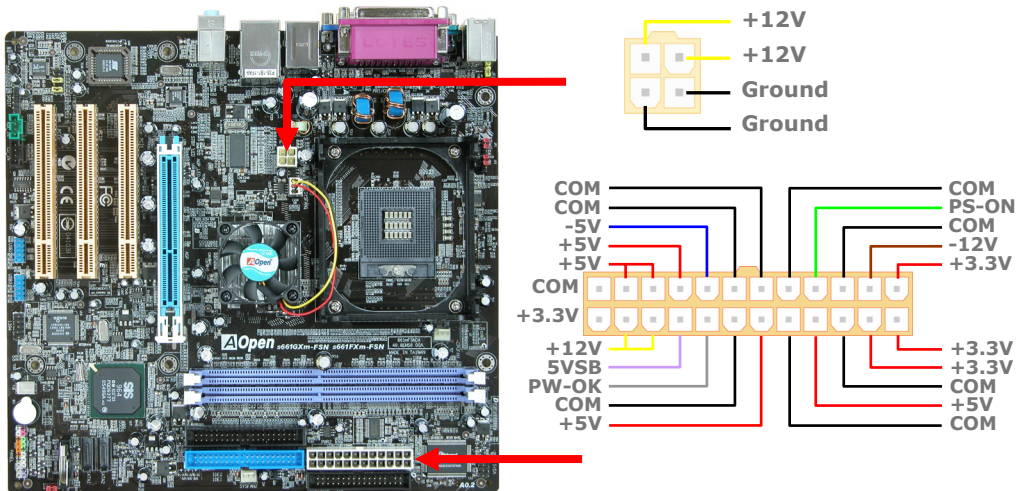
1	○	○	Power Switch
NC	○	○	GND
+5V	○	○	Power LED-
HDD LED	○	○	GND
HDD LED	○	○	Power LED+
+5V	○	○	NC
+5V	○	○	GND
GND	○	○	GND
NC	○	○	RESET
SPEAKER	○	○	GND

フロントパネルコネクタ



## 6. Connecting ATX 電源ケーブルの接続

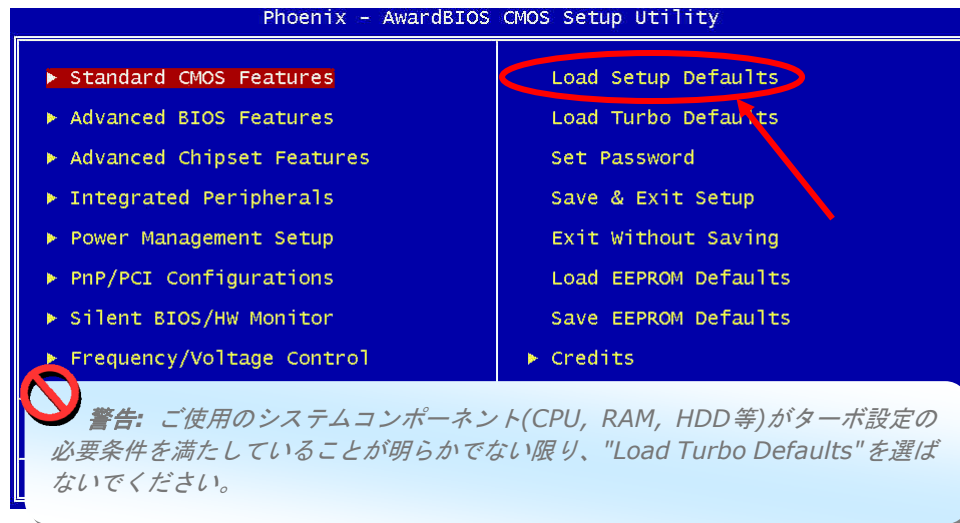
当マザーボードには下図のように 24 ピンおよび 4 ピンの ATX 電源コネクタが使用されています。挿し込む際は向きにご注意ください。24 ピン ATX 電源コネクタより先に 4 ピン 12V ATX コネクタを接続することを強くお勧めします。



## 7. 電源オンおよびBIOS 設定のロード

Del

ジャンプ設定およびケーブルの接続を終了したら、電源をオンにし、BIOS セットアップに入ります。これには POST (電源オン時のセルフテスト)中に<Del>キーを押します。“Load Setup Defaults”を選ぶと、推奨される最適な性能に設定されます。



## 8. AOpen ボーナスパック CD およびEzInstall

ボーナス CD ディスクのオートランメニューがご使用いただけます。左側のアイコンからユーティリティやドライバを選び、“GO”ボタンを押せば、インストールは最後まで自動的に行われます。



## CPU 電圧およびクロックの設定

### CPU コア電圧の設定

当マザーボードは電圧 ID (VID)機能で、電源オン時に CPU 電圧の自動検出が可能です。CPU コア電圧の設定は不要です。

### CPU クロックの設定

当マザーボードは CPU ジャンパレス設計なので、CPU クロック設定は BIOS の 1MHz ステップ CPU オーバークロック機能から行います。CPU コアクロック = CPU FSB クロック × CPU レシオ。ただし、現在市場に流通する CPU は "倍率固定"、すなわちユーザーによる CPU レシオは調節不可能で、オーバークロックには CPU FSB クロックのみが調節可能です。

(オーバークロックは自己責任の元行なって頂きますようお願いいたします。)

### BIOS Setup > Frequency / Voltage Control > CPU Bus Frequency

CPUレシオ	4x, 5x... 17x, 18x, 20x
CPU FSB (マニュアル調節)	FSB = 100MHz - 533MHz、1MHzステップ CPUオーバークロックによる

プロセッサ 番号	アーキテクチャ	クロック	フロントサイドバ	キャッシュ	レシオ
Pentium M 770	90nm	2.13GHz	533MHz	2MB L2	16x
Pentium M 760	90nm	2.00GHz	533MHz	2MB L2	15x
Pentium M 750	90nm	1.86GHz	533MHz	2MB L2	14x
Pentium M 740	90nm	1.73GHz	533MHz	2MB L2	13x
Pentium M 730	90nm	1.60GHz	533MHz	2MB L2	12x
Pentium M 765	90nm	2.10GHz	400MHz	2MB L2	21x
Pentium M 755	90nm	2.00GHz	400MHz	2MB L2	20x
Pentium M 745	90nm	1.80GHz	400MHz	2MB L2	18x
Pentium M 735	90nm	1.70GHz	400MHz	2MB L2	17x
Pentium M 725	90nm	1.60GHz	400MHz	2MB L2	16x
Pentium M 715	90nm	1.50GHz	400MHz	2MB L2	15x
Pentium M 705	130nm	1.50GHz	400MHz	1MB L2	15x
Celeron M 370	90nm	1.50GHz	400MHz	1MB L2	15x
Celeron M 360	90nm	1.40GHz	400MHz	1MB L2	14x
Celeron M 350	90nm	1.30GHz	400MHz	1MB L2	13x
Celeron M 340	130nm	1.50GHz	400MHz	512KB L2	15x
Celeron M 330	130nm	1.40GHz	400MHz	512KB L2	15x

メモ: CPU クロックは頻繁に変更されています。当インストールガイドを入手された時点でも、より高速の CPU が市場に出回っているかもしれません。この一覧表はユーザー皆様の参照用です。



ヒント: オーバークロックに失敗した場合は下記の方法をとってください:

1. CMOS クリア (JP14) により、デフォルト設定に戻します。
2. 電源オン後、すぐ "Home" キーを押して画面が表示されるのを待ちます。

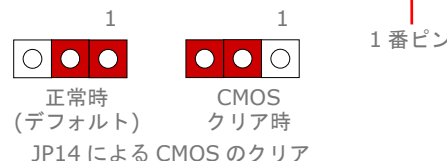
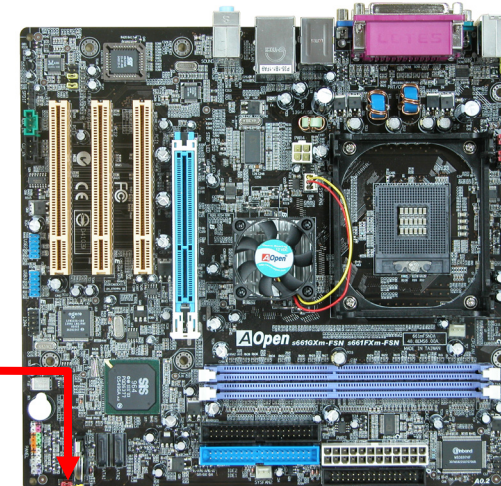


警告: SiS661FX チップセットは最大 533MHz (133MHz\*4) システムバスをサポートしていません。より高速の設定はシステムに重大な損傷を与える可能性があります。

## JP14 による CMOS のクリア

CMOS をクリアすると、システムをデフォルト設定値に戻せます。以下の方法で CMOS をクリアします。

1. システムをオフにし、AC コードを抜きます。
2. コネクタ PWR2 から ATX 電源ケーブルを外します。
3. JP14 の位置を確認し、2-3 番ピンを数秒間ショートさせます。
4. JP14 を通常動作時の 1-2 ピン接続に戻します。
5. ATX 電源ケーブルをコネクタ PWR2 に挿します。

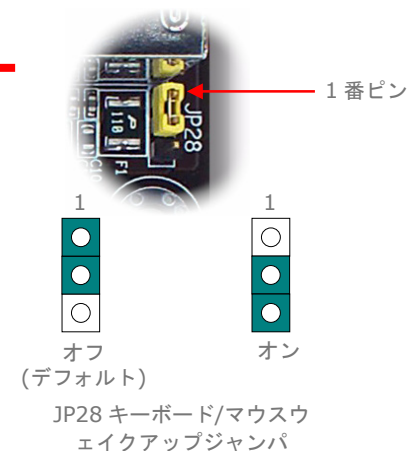
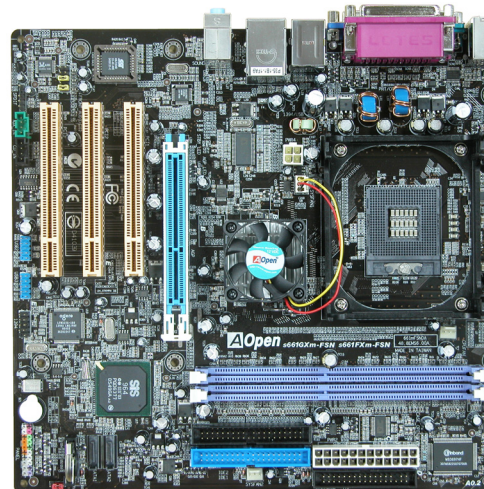


ヒント: CMOS クリアが必要な場合は?

1. オーバークロック時の起動失敗...
2. パスワードを忘れた...
3. トラブルシューティング...

## JP28 キーボード/マウスウェイクアップジャンパ

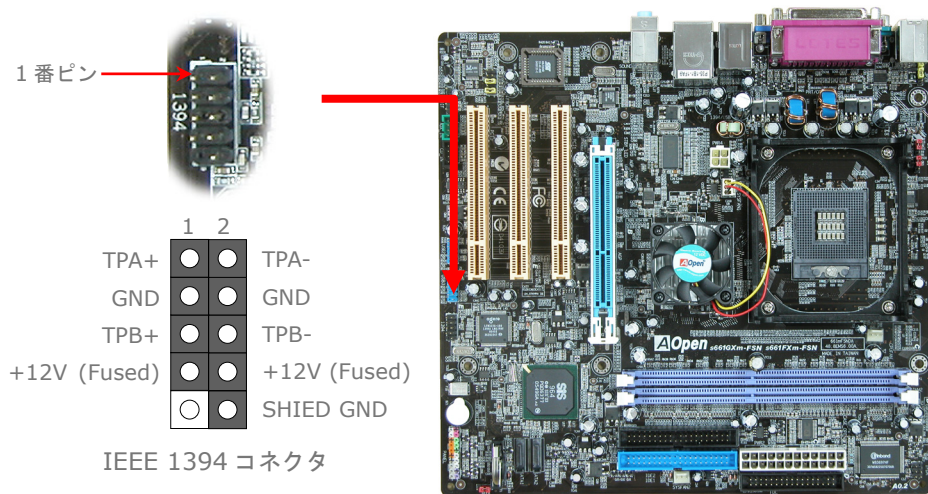
当マザーボードにはキーボード/マウスウェイクアップ機能が装備されています。接続されている USB キーボードやマウスの動きでシステムがサスペンド状態からレジュームする機能のオン/オフには JP28 を使用します。工場デフォルト設定は "オフ" (1-2) ですが、ジャンパ位置を 2-3 にすることで、この機能がオンになります。





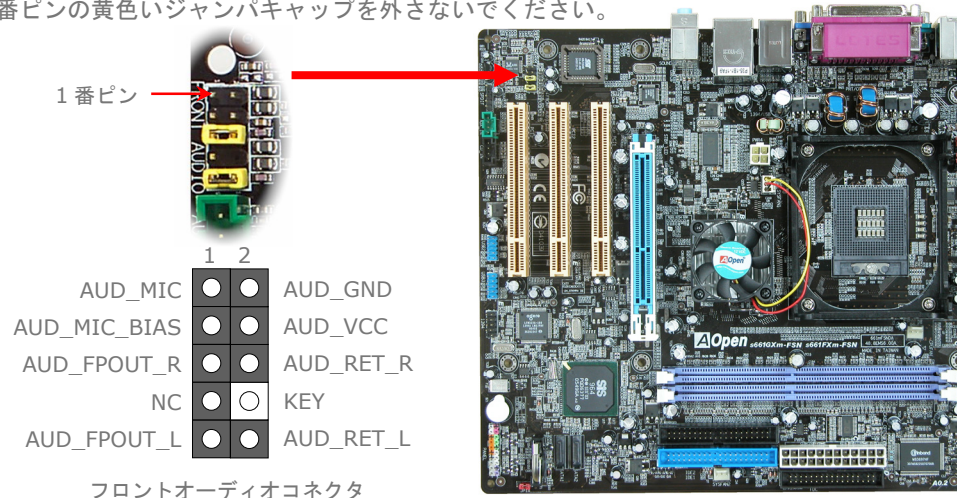
## IEEE 1394 コネクタ

オンボードの IEEE1394 チップ(AGERE 1394)により、データ転送速度は最大 400Mb/s を実現します。このため IEEE 1394 インタフェースはデジタルカメラ、スキャナー、その他 IEEE 1394 装置など高速データ転送性能を必要とするデバイスの接続に使用できます。IEEE1394 デバイスへの接続には適切なケーブルをご使用ください。



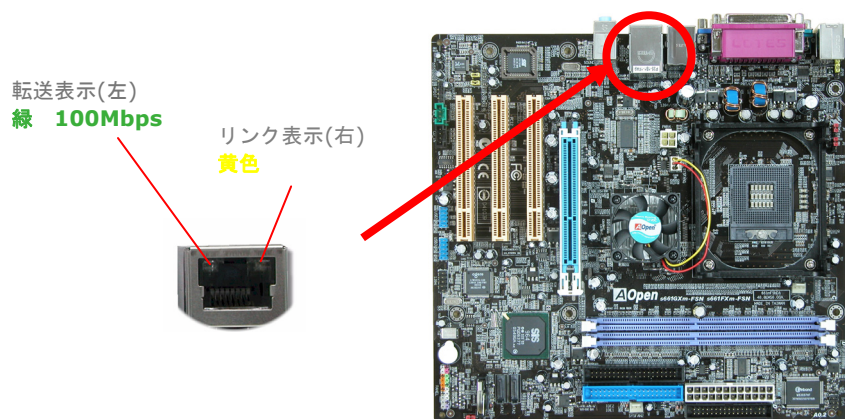
## フロントオーディオコネクタ

筐体のフロントパネルにオーディオポートが装備されている場合、オンボードオーディオからこのコネクタを通してフロントパネルに接続できます。なお、ケーブルを接続する前にフロントパネルオーディオコネクタから5-6番ピンおよび9-10番ピンのジャンパキャップを外してください。フロントパネルにオーディオポートがない場合は、5-6番ピンおよび9-10番ピンの黄色いジャンパキャップを外さないでください。



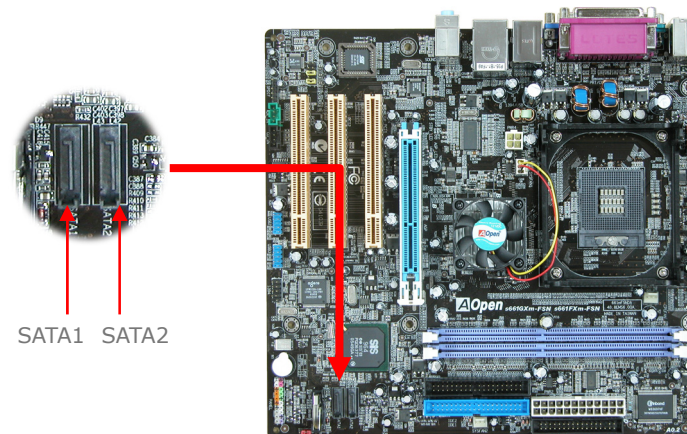
## オンボード10/100Mbps LAN

オンボードの高性能10/100Mbps LANコントローラにより、当マザーボードでは、10/100Mbpsイーサネットがオフィスやホームユースで利用可能です。イーサネット用RJ45コネクタはUSBコネクタ上部に位置します。右側のLEDはリンクモード表示で、ネットワークにリンクしている場合は黄色に点灯します。左側のLEDは転送モード表示で、データ転送速度が100Mbps (10Mbpsは消灯)の場合は緑に点灯します。この機能のオンオフはBIOSから簡単に設定できます。



## Serial ATA コネクタ

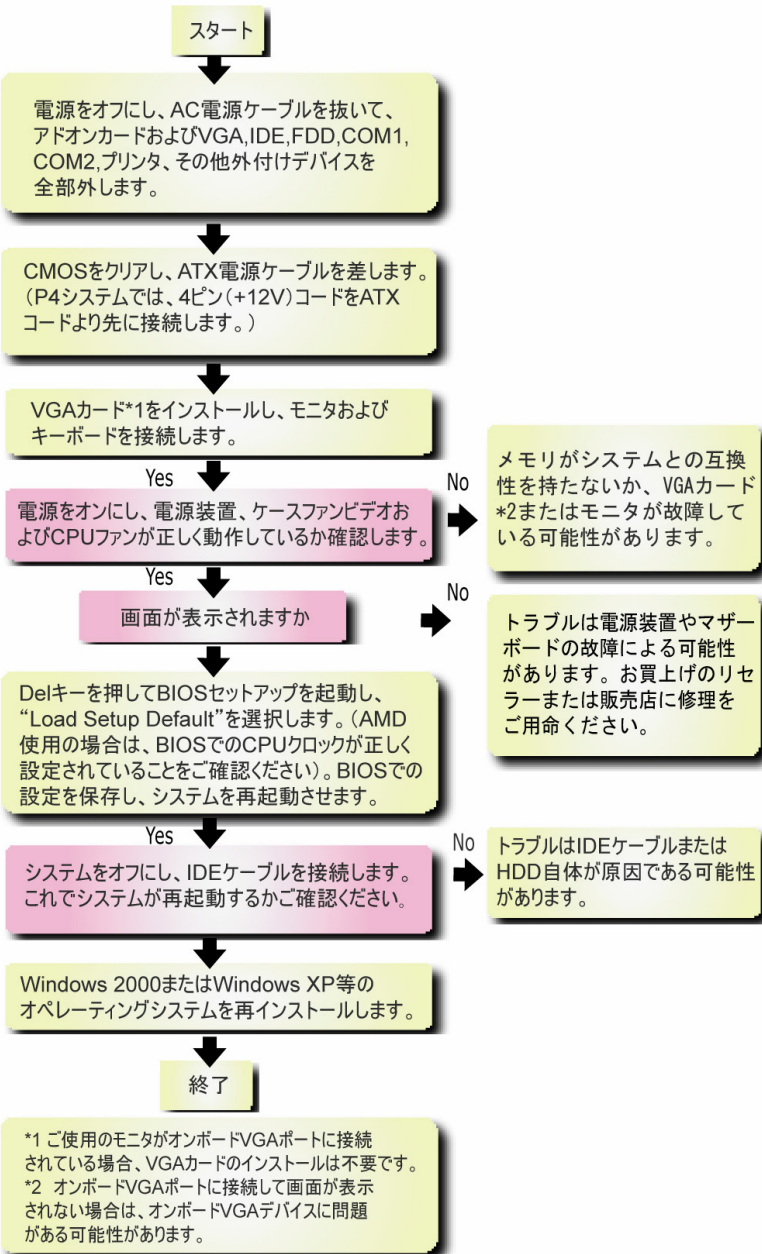
Serial ATA ディスクを接続するには、7ピン Serial ATA ケーブルが必要です。Serial ATA ケーブルでマザーボードの Serial ATA ヘッダとディスクをつなぎます。従来のディスクと同様、電源ケーブルも接続する必要があります。ここでジャンパ設定は不要であることにご注意ください。ディスクをマスタやスレーブにジャンパ設定する必要はありません。Serial ATA ハードディスクを Serial ATA ポートにインストールする際は、ポート 0 (SATA1) にインストールされたディスクが自動的に起動用ディスクに設定されます。ここでホットプラグ機能はサポートされていない点にご注意ください。





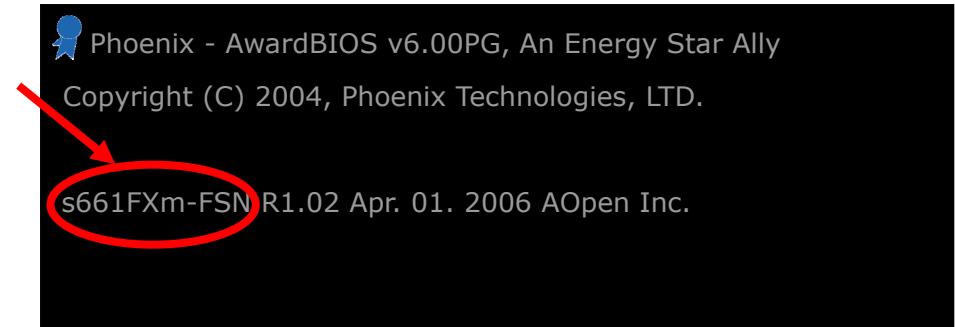
# トラブルシューティング

システム起動時にトラブルが生じた場合は、以下の手順で問題を解決してください。



## 型式名およびBIOSバージョン

型式名およびBIOSバージョンは最初の起動画面(POST画面)の左上に表示されます。以下が一例です。



s661FXm-FSN はマザーボードの形式名で、**R1.02**がBIOSバージョンです。

## お買上げのマザーボードの登録

AOpen 製品をお買上げいただき、ありがとうございます。お買上げのマザーボードは <http://club.aopen.com.tw/productreg/> から登録いただきますと、Club AOpen の会員となり、AOpen からの質の高いサービスが優先的にご利用いただけます。また、スロットマシニングゲームに参加してAOpenからの景品獲得もできます。登録の際には下記の情報をご用意ください。**形式名、パーツ番号(P/N)、シリアル番号(S/N) およびお買上げ日。** パーツ番号およびシリアル番号はバーコードラベルに印刷されています。バーコードはパッケージ外側またはPCBのコンポーネント側に付いています。以下が一例です。



パーツ No.

シリアル No.

**P/N: 91.88110.201** はパーツ番号で、**S/N: 91949378KN73** はシリアル番号です。

## Phoenix-Award BIOS エラーメッセージ

エラー音	エラー音
1 回短く ( . )	1 回短く ( . )
2 回短く ( . . )	2 回短く ( . . )
1 回長く - 1 回短く ( - . )	1 回長く - 1 回短く ( - . )
1 回長く - 2 回短く ( - . . )	1 回長く - 2 回短く ( - . . )
1 回長く - 3 回短く ( - . . . )	1 回長く - 3 回短く ( - . . . )





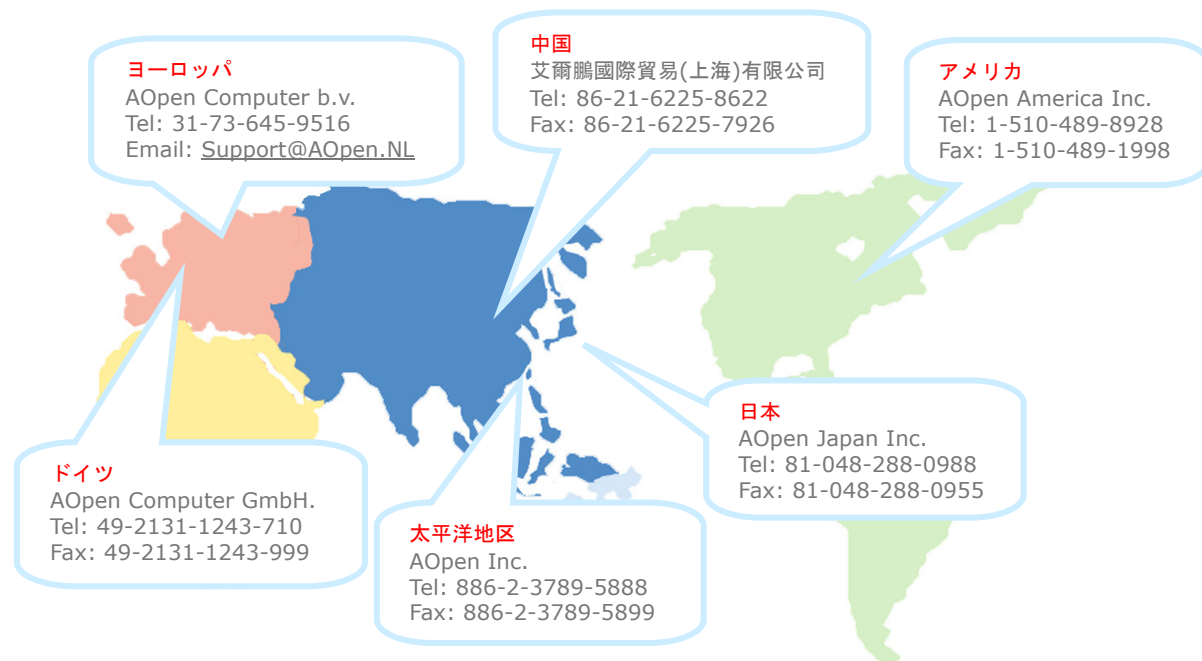
# テクニカルサポート

## ユーザーの皆様へ

AOpen 製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。製品を <http://www.aopen.com> で登録なさるようご招待いたします。登録なさいますと、Club AOpenのゴールドメンバーとなり、以後の質の高いサービスをご利用いただけます。ユーザーの皆様は質の高いサービスを継続的に提供するため以下の手順をご参考になり、お買い上げ地域にある当社の支社からのサポートをお受けください。ユーザー皆様のご協力により、効率的かつ最良のサービスを引き続き提供して参ります。

ご理解に感謝申し上げます。

AOpenテクニカルサポートチーム



ヨーロッパ	<a href="http://www.aopen.nl/tech/default.htm">http://www.aopen.nl/tech/default.htm</a>
太平洋地区	<a href="http://www.aopen.com.tw/tech/default.htm">http://www.aopen.com.tw/tech/default.htm</a>
中国:	<a href="http://www.aopen.com.cn/tech/default.htm">http://www.aopen.com.cn/tech/default.htm</a>
ドイツ	<a href="http://www.aopen.de/tech/default.htm">http://www.aopen.de/tech/default.htm</a>
アメリカ	<a href="http://usa.aopen.com/tech/default.htm">http://usa.aopen.com/tech/default.htm</a>
日本	<a href="http://aopen.jp/tech/index.htm">http://aopen.jp/tech/index.htm</a>

ユーザーズ・マニュアル：最新版をダウンロードするために、Download Centerにアクセスして下さい。EIGのデジタル形式とボーナスパックCDディスクのマニュアルを入手できます。

テストレポート：互換性の問題についてのテスト結果をブラウズするために、弊社の次のウェブサイトへアクセスして下さい。  
(<http://global.aopen.com.tw/tech/report/>)  
ふさわしい部品の提供や、ハードウェアの互換性の問題を回避できます。

ソフトウェアをダウンロードする：BIOS、ドライバおよびユーティリティを含む最新版のソフトウェアのダウンロードするために、弊社のDownload Centerに頻繁にアクセスして下さい。  
<http://download.aopen.com.tw/>

eForum: AOpenにより管理されているWeb上でのディスカッション・ボードがあります。ユーザーとのフィードバックやオプションの交換の場を提供していません。質問に対する回答が素早く届くので、便利とお感じになられることでしょう。  
<http://club.aopen.com.tw/forum/>

AOpenへ連絡する：テクニカルサービスに連絡する前に、問題の詳細を収集して下さい。P/N、S/N、型式名およびBIOSバージョンなどを含むデータを準備して下さい。  
<http://global.aopen.com.tw/company/contact/>

FAQ: ここではウェブサイト上で、頻繁に尋ねられる質問がリストされています。ネット上のFAQデータベースに掲載したり、検索したりして下さい。  
<http://club.aopen.com.tw/faq/>

AOpen 販売パートナープログラムへ連絡する：弊社では世界中の販売店やシステム・インテグレーターを通じて販売しています。皆さんの問題に効果的に対処する訓練を受けています。弊社の販売パートナーへ連絡するためには、弊社ウェブサイトへアクセスして下さい。  
<http://global.aopen.com.tw/shopping/store/>